



兵庫県立教育研修所

2月15日をもって令和4年度の初任者研修を終了しました。1年間、該当校の管理職・指導教員をはじめとする教職員の皆様、各市町組合教育委員会の関係者の皆様には、初任者研修の実施において、ご理解とご協力を賜わり心より感謝申し上げます。

また、リフレクション通信の活用に関して、ご協力いただきましたこと重ねて感謝申し上げます。

多忙を極める学校現場において、なかなか難しいかもしれませんが、学校全体で初任者を支え・認め・励ます体制づくりを充実させることが必要であると考えます。今後も県立教育研修所と指導教員、該当校の管理職をはじめとする全ての教職員、市町組合教育委員会が連携を図りながら、「チーム兵庫」として一体となって初任者の実践的指導力向上に向けた支援を図っていききたいと考えております。最終号として、初任者研修の最終回(研修所で行う研修第8回)の「初任者研修の1年間の振り返り」を、各グループ、各教科の内容を一部紹介します。

中学校

【初任者研修の1年間の振り返って】

【国語科】

- この1年間、新たな発見や気づきが多く、良い学びの時間となりました。教員としての力量を高める研修で、内容は、授業、道徳、生徒指導、学級活動、特別活動、キャリア教育、食育、防災教育等、多岐に渡っていました。また、兵庫県の特別活動が何に力を入れて、どのような考えのもと、行われているのかを知ることができました。改めて自分の育ったこの兵庫県の風土を好きになることができました。今後、この研修で学んだことをもう一度整理して理解し、実践しながら現場の子どもに返していけるよう取り組みたいです。

【社会科】

- 社会科の授業に関することはもちろん、道徳や特別活動、特別支援教育など様々なことを学びました。今まで、「主体的・対話的で深い学び」という言葉は知っていましたが、それをどう授業に反映させていくかを具体的に学ぶことができました。私は今年度、既習事項との関連付けや授業のねらいを明確にすることを意識して取り組みました。これから頑張りたいことは、単元を貫く問いを設定し、単元のまとまりごとに授業をつくっていくことです。めざす子どもの姿に近付けるかどうかは授業の構成が重要だと思うので、これからもこだわりのある授業をしていきたいと思っています。

【数学科】

- 初任者研修を通して、特に学んだと思う部分は、授業づくりについてです。子どもがより効果的に学ぶために意識したいこと、主体的・対話的な学びの実践に向けた手立て、ねらいを持ったためあて、授業づくり等、様々な角度から授業を考えることができました。そのような学びを踏まえ、この1年間、子どもの反応を考えた授業実践に意識を向けました。クラスによって、内容は同じでも伝え方や時間のかけ方を変えたり、個別指導をしたり、子どもの反応からもう一度説明をしたりと、実態に応じて授業をすることができました。また、これからの課題として、流れを意識して授業をつくっていきたいと思います。どの単元が繋がっているかを意識して授業を行い、既習事項と新しい学びをつなげる授業を行いたいです。

【理科】

- 初任者研修で、一番良かったことは同期の存在を感じることができたことです。休み時間の何気ない会話の時に、自分が感じている悩みを話すと共感してくれて、同じことで悩んでいる人はいるのだと思うことができました。初任者研修の度に、日々の学校生活を振り返ることができました。普段は、自分の生活を客観的に考える余裕がなかったですが、学校という場を離れ、研修を受けることでそのような機会があり、よかったです。初任者研修では、「教員としてどうありたいか」を自分に問いかける時間があつたように感じます。理想的なことを研修の場で言って終わりではなく、その内容が現場で反映されるように、私も努力していきたいです。道徳の教材研究、理科の教材研究をする時間や、授業交流の時間は、本当に有意義で参加していてとても面白かったです。教員になった意味を再確認する時間でもありました。大学等で、教育のことを学問的に学んでいる時に、教員は、研究と実践の両方を大切に仕事をするべきだという志を持っていました。実際、社会人1年目になった時に、その志を持って仕事をするのは大変だという現実を知りました。いつか、目の前の仕事も行いながら、自分の教科の準備を十分にして、授業で勝負できる教員になりたいです。

【音楽科】

- この1年を通して、自分自身の中の「音楽教育」への考え方が大きく変化したように感じます。教材を教えることで精一杯なところもありましたが、初めに比べて、教材を通して子どもに何を学ばせたいかを考え、音楽的な見方・考え方を意識して取り組むことができるようになりました。また、音楽科の教員として、音楽との出会わせ方や考えさせ方等、子どもが興味を持ち、「わかるから楽しい」授業にしていける大切さを学びました。ともに採用になった教科の同期のみなさんがとても勉強されており、前向きな姿勢に刺激を受け、学ばせていただきました。音楽の授業を通して表現することの大切さや楽しさ、喜びを味わうことができるよう、今後も学び続けていきたいです。

【美術科】

- 知らないことが多く、全てが勉強の1年だったと思います。授業も初めの頃よりも少しは良くなっていると思います。それは、この研修や学校での学び、同期との話し合い、授業検討等があったからこそだと思います。まだまだ不十分なことが多く、勉強することはばかりですが、生徒にとって自分の授業が良い学びになるよう、目標をしっかりと持って取り組んでいきたいと思っています。また、美術の楽しさ、良さを伝えていけるようになりたいです。

【保健体育科】

- ・1年間を通して、研修での学びだけでなく、周りの同期のみなさんとの交流の中でも学べたことが多くありました。4月当初の自分自身は、目の前の授業をどう進めるか、この場面ではどうすべきなのか等、何が正解なのかを探りながら過ごしていました。しかし、研修をしていく中で、自分の指導方法や授業で大切にしたいこと、生徒に対してどんな成長してほしいのか、自分のクラスがどんなクラスになってほしいのか、という目標が明確になっていきました。その目標ができることでアイデアが浮かび、自分の考えや意志を持ちながら生徒と向き合うことができるようになったと思います。今後は教員としての更なるスキルアップを目標にして、自分の成長が子どもの成長につながることを意識しながら取り組んでいきたいです。

【技術分野】

- ・私自身は、授業でICTを活用する際には、スライドを投影したり、YouTubeを再生したり、アプリを活用したりしていました。しかし、この1年間の研修で、実習の授業では、事前に自分自身が実習している姿を動画で撮影し、生徒の端末に投影する方法もできることを学びました。その方法を実際の授業で活用すると、伝えたいことがしっかりと伝わったりすると同時に、実践で失敗する生徒が少なくなり、意欲が向上したり、学習が確実に定着したりしているように感じました。また、先日は実習一つ一つの動作を写真で撮影し、Wordで説明文と一緒に編集し、PDFに変換した後に生徒に転送することを実践しました。すると、個に応じた対応もでき、より一層、生徒の意欲が向上しているように感じました。今後は、この1年間の研修で得たことを踏まえて、さらなる教材研究をし、生徒がものづくりの面白さを体感できるよう、日々の業務に努めたいと思います。

【家庭分野】

- ・家庭科教員は、各学校に1人しかいないことが多いので、この研修を通して同じ教科の初任の同期のみなさんに会えてとても良かったです。それぞれの悩みや不安を共有するとても貴重な機会でした。私自身も、研究授業をさせてもらう等、学びの多い一年でした。ねらいに迫るめあての立て方や授業の進め方、生徒やその保護者との信頼関係のつくり方等、この研修で学んだことを自分なりに少しずつ現場で生かしていけるよう、今後も頑張りたいと思います。

【外国語科】

- ・1年間あっという間でした。4月に着任し、新しい環境に慣れることから始まり、右も左も分からない状況で、周りの方々にたくさん支えられてきました。今年度は、とにかく自分の授業力向上をテーマに掲げ、新しい環境だからこそ挑戦できることを意識しました。特に授業が面白いと生徒に思ってもらえるように教材研究を重ねたので、今後もその気持ちは忘れずに研鑽していきたいです。また、担任をさせていただいたことで、よりやりがいを感じ、日々生徒の成長を間近で感じられる環境だったことは大きな財産となりました。研修で学んだことをすぐに実践できる状況にあるということは当たり前ではないということに気が付くことができ、改めて毎日を大切にしたいと思います。初任者研修を通して同期ができ、講師時代では経験できなかったことが多々あるので、どんな環境であっても仲間は大切だと感じました。同じ境遇、課題を抱えた同期と課題を共有することで、勉強になり、「困っているのは自分だけじゃない、みんな頑張っているから」と勇気をもらうことができました。こういった経験は生徒にも還元できることなので、多くの場面で生徒に伝えたいです。来年度以降は、よりブラッシュアップし、生徒とともに成長できるようにしたいです。

小学校

【初任者研修の1年間を振り返って】

【A1グループ】

- ・普段の学校での生活では、じっくり考えられないことや聞くことが難しい話を聞くことができませんでした。また、同じ初任者同士で話をするのもあまりないので、研修所に来た時に、お互いどんな取組をしているか話せたので良かったと思います。各教科の授業づくりについて学んだことや、生徒指導や子どもとの関わり方で学んだこと等、実際に子どもと向き合った時に、すぐに生かすことができました。しかし、全部をしっかりと実践はできなかったため、来年度には今年度学んだことを、4月からしっかり生かしていきたいと思います。他の先生方がされていた実践で、自分に合いそうなものも挑戦してみたいです。今年一年間で学んだことを意識して、子どもから信頼される教員になれるよう、頑張ります。

【A2グループ】

- ・授業づくりの基礎を学ぶことができました。めざす子どもの姿を具体的に考え、単元で身に付けさせたい力を踏まえ、めあてに沿った授業構成をすることが大切だと学びました。子どもの知りたい、解決したいという気持ちを引き出せるような、導入や展開を考え、実践していきたいです。また、日々の授業を振り返り、反省改善していきながら、学び続けていきたいです。生徒指導では、幅広い視野を持って、子どものことをよく観察し、少しの変化にも気付ける力を身に付けていきたいと考えました。「いつでも話を聞かよ」という姿勢を示して、安心して学校に通える雰囲気をつくれる教員になりたいと思います。初任者研修での学びを基礎として、今後も積極的に学ぶ姿勢を大切にしていきたいです。

【A3グループ】

- ・初任者としての1年間をもうすぐ終えますが、ここまでやり抜くことができたのは、学校や学年の先生方に支えていただいたこと、初任者指導の先生にたくさんの助言と指導をしていただいたこと、ともに学ぶ同期のみなさんがいたこと、そして、指導主事の先生方に研修で指導していただいたことがあったからだと思います。本当にありがとうございました。1つの授業をするためには目の前にいる子どもの姿を想像し、どんな力を身に付けてほしいかを基にねらいを立てること、授業の振り返りとめあてが一貫するように適切な指示や声かけをすることが大切であり、授業づくりの際には、そのことを意識して取り組むようになりました。大変なことも多くありましたが、「誠実さを忘れずに、子どもと正面から向き合う」「自分の立場をわきまえて謙虚に行動する」ことを念頭におくことで、保護者の方からも温かい声を掛けていただくことも増え、嬉しさを感じました。2年次も、今まで以上に気を引き締めながら、教員としての自覚を持ち続けます。そして、少しずつ成長できるように頑張っていきたいです。

[A4グループ]

- 1年間を振り返って自分自身が成長したことは、子どもの前に堂々と立つことができたことだと思います。初めの頃は授業や指導等、どんなことに関してもあたふたしてしまい、何が正解なのか分からない状態でした。しかし、初任者研修で指導主事の話の聞いたり、同じグループの同期のみなさんと話をしたりすることで、どんな授業も指導も、子どものためになるなら全て正解なのだと考えるようになりました。そこから、自分自身が授業を楽しむこと、子どものいけないと思った行動を指導すること等、自分自身の軸や考えを持って様々なことができるようになりました。この1年間の研修を通して、少しは教員として余裕を持つことができ、子どもの前で堂々と授業ができるようになったのではないかと思います。

[A5グループ]

- 一生懸命に過ごしてきた1年間でした。子どもからも、学年団の先生からも、学校に関わる皆さん、保護者、同期のみなさんからたくさんのことを教えてもらいました。自分も昔は小学生でしたが、小学校にはこんなに様々な性格の子どもがいることを目の当たりにし、衝撃を受けました。そんな様々な性格の子ども一人ひとりに応える力を付けたいです。そして、教員の仕事が生徒のことだけではなく、事務的なことから保護者のことまで多岐にわたることも知りました。教員はたくさんの人の人生を背負う責任のある仕事なのだと分かり、教員としての自覚がこの一年で成長したと思います。

[B1グループ]

- 毎回の研修が私にとって学びでした。初めてのことばかりで、正直不安なことがたくさんありました。研修に来ると、同じ悩みを抱えている同期のみなさんがいて、また明日から頑張ろうと思える機会となりました。授業づくりでは、「子どもの学ぶ姿」をイメージすることの大切さや、授業の進め方を学びました。特に道徳の授業づくりはとても楽しく、中心発問の設定の仕方や評価の視点を学べたことも、研修以降の道徳の授業を考える上で、生かすことができたと感じています。社会科の授業では、資料の活用について学びました。資料をうまく活用する方法やICTの良さを生かした授業づくりができるように、今後も実践での反省を生かしながら頑張っていきたいです。信頼関係や保護者対応等についても、関わりを大切にしながら頑張っていきます。一歩ずつ前進していきたいと思います。

[B2グループ]

- 授業の組み立て方や教員として大切なことや気を付けるべきこと、学び続ける姿勢を持つこと、保護者との関係づくり等、教員として基本となることをしっかりと学べました。学級では担任が1人で学級経営を行っていくと聞いていましたが、たくさんの子どもの思いや個性を大切にしながら、様々な教員、保護者、地域等、多くの人に関わってみんなで育てていくということが、改めて分かりました。2年目以降も学んだことを生かしながら、さらに学ぶ姿勢を持ち、子どもにとって良い教育ができるように努めていきたいです。

[B3グループ]

- 学校の中だけでは学べないことを学ぶことができました。毎日の授業は自分でつくっていかなければならないので、分からないこともたくさんありましたが、同じグループの同期のみなさんと相談したり、いろいろな意見を聞いたりしながら、授業をつくっていったことは自分の大きな力になったと思います。今までは、指導書通りに進める授業が多かったですが、めざす子どもの姿を設定した授業づくりが少しずつできてきたと感じています。今後もさらに、めざす子どもの姿に近付ける授業づくりや実践をしていきたいです。今後の課題は、子どもの発言から授業を進めていくことです。子ども同士の発言をつなげたり深めたりすることができるように努力したいです。また、初任者研修を終えても学びは終わりではなく、これからも子どもとともに学んで成長する教員でありたいと思います。

[B4グループ]

- 多くの研修を受けたことで、自分自身を振り返るとともに、4月の自分よりも、レベルアップしたと、自信を持つことができるようになりました。特に、同期のみなさんと顔を合わせて話をすることができ、とても刺激を受けました。来年度からは、今年度のように設定された研修の回数は減りますが、その分、自分で働きかけ、自ら学んだり、自ら繋がりを持ったりして、さらに力を付けたいと思います。そうすることが、日々子どもへの教育活動にも、学級運営にもつながると思うので、今の気持ちを忘れず、学び続けていきたいと思っています。多くのことを教えていただいた教育研修所の先生方に本当に感謝しているとともに、研修所の先生方を見ていて、自分も今後を担う先生方をサポートできるような立場への憧れも抱くほど、先生方のお話は魅力的でした。たくさんのお話を教えていただき、ありがとうございました。今後ともご指導よろしくお願ひいたします。

[B5グループ]

- 1年間学んできて、少しずつ自分のものにできていると実感していることと、まだまだだと思うことがたくさんありました。教員は、終わりがいい仕事であるとともに、目の前の子どものことをとことん考えることで成り立っている仕事だと思います。まずは何よりも、目の前の子どもの命を守り、未来を育てているということに忘れずに、これからも学び続ける教員でありたいと強く思います。